

# 資料 東日本大震災と世界の自然災害

2011(平成23)年3月11日に発生した「東北地方太平洋沖地震」。観測史上最大のマグニチュード9.0という地震規模で、地震に伴う大津波が沿岸部に押し寄せ、多くの尊い命が奪われました。日本はこれまで大地震、大津波などによる災害で大きな被害を受けてきました。私たちは、震災をはじめとした災害から学んだことを、後世に語り継いでいかなければなりません。

## 「東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)」の記録

(出典：平成24年12月 気象庁地震・火山月報(防災編))

❶ 発生日時：2011(平成23)年3月11日14時46分

❷ 震源：三陸沖(北緯38度06.2分, 東経142度51.6分, 深さ24km)

❸ 地震の規模：マグニチュード9.0

❹ 宮城県内の揺れ〔各観測地点の最大震度〕

震度7 栗原市(築館)

震度6強 栗原市(若柳・高清水・一迫), 石巻市(桃生町), 登米市(米山町・南方町), 大崎市(古川三日町・田尻・古川北町・鹿島台), 川崎町(前川), 仙台市(宮城野区), 名取市(増田), 美里町(木岡塚), 東松島市(矢本), 塩竈市(旭町), 涌谷町(新町), 大衡村(大衡), 蔵王町(円田), 山元町(浅生原)

震度6弱 栗原市(金成・瀬峰・栗駒), 登米市(迫町・登米町・中田町・豊里町・東和町), 大崎市(松山), 岩沼市(桜), 石巻市(門脇・前谷地・鮎川浜・泉町・北上町・相野谷), 気仙沼市(赤岩・唐桑町), 角田市(角田), 仙台市(若林区・泉区・青葉区), 美里町(北浦), 東松島市(小野), 松島町(高城), 白石市(亘理町), 利府町(利府), 大郷町(粕川), 大河原町(新南), 南三陸町(志津川・歌津), 富谷町(富谷), 仙台空港, 亘理町(下小路), 大和町(吉岡)

震度5強 気仙沼市(笹が陣, 本吉町津谷), 加美町(中新田・小野田), 色麻町(四竈), 栗原市(鶯沢・花山), 大崎市(三本木・岩出山・鳴子), 村田町(村田), 柴田町(船岡), 丸森町(鳥屋・上滝), 仙台市(太白区), セケ浜町(東宮浜), 登米市(石越町・津山町), 多賀城市(中央), 石巻市(大瓜), セケ宿町(関)

震度5弱 加美町(宮崎) 記録なし 女川町

❺ 津波の高さ(浸水高) 南三陸町志津川 最大波 19.6メートル以上(宮城県土木部)  
(最大遡上高) 女川町 34.7メートル (宮城県「復興の進捗状況」)

宮城県の被害状況 (2015(平成27)年11月30日現在) (出典：宮城県総務部危機対策課)

【人的被害】 死者(直接死) 9,629人 津波や家屋倒壊などが原因で死亡したと被災市町村で確認された人の合計  
(関連死) 920人 被災後の避難生活での体調悪化や過労など間接的な原因で死亡した人の合計

【行方不明者】 1,239人

【負傷者】 重傷 502人 軽傷 3,615人 その他 28人

【住家被害】 全壊 82,999棟 半壊 155,129棟 一部破損 224,195棟 床上浸水 7,796棟

【被害額】 (2015(平成27)年9月10日現在) (出典：同上)

交通関係 103億円 ライフライン施設 2,394億円(うち水道 838億円, 電気 708億円, 都市ガス 276億円)  
保健医療・福祉施設 518億円 建築物(住宅関係) 50,904億円 民間施設など 9,906億円  
農林水産関係 12,952億円 公共土木施設・交通基盤施設 12,568億円 文教施設 2,112億円  
廃棄物処理・し尿処理施設 54億円 その他の公共施設など 764億円

日本だけでなく、世界でも被害の大きな自然災害が発生しています。どのようなことが被害を拡大させたのかを調べ、その教訓を生かしましょう。

## ●世界の自然災害年表(死者・行方不明者100人以上の主な災害)

西暦(元号)年	災害名	被害の概要
869(貞観11)年	貞観地震	三陸沖を震源とするマグニチュード8.3の地震、津波でおよそ1,000人が死亡。
1611(慶長16)年	慶長三陸地震	三陸沖北部でマグニチュード8.1の地震、大津波で1,783人が死亡。
1755(宝暦5)年	リスボン地震	ポルトガルの首都リスボン沖で発生したマグニチュード8.5の地震。津波による死者1万人を含めて62,000人が犠牲になり、ヨーロッパ全体が政情不安になった。
1854(安政元)年	安政東海地震	マグニチュード8.4と推定される南海トラフ巨大地震で、被害は関東地方から近畿地方に及び、死者は2,000~3,000人と推定。
1854(安政元)年	安政南海地震	上記の約32時間後に発生した南海トラフ巨大地震。被害は中部地方から九州地方に及び、マグニチュードは8.4~8.5、死者は数千人と推定。
1855(安政2)年	安政江戸地震	マグニチュード6.9~7.4と推定され、江戸市中の死者だけで1万人前後。上記2つの地震とともに安政大地震と総称されることもある。
1896(明治29)年	明治三陸地震	三陸沖にマグニチュード8.2の地震、陸上の揺れは比較的小さかったのに比べ、海上から大きな津波が押し寄せた。死者は22,000人に上った。
1906(明治39)年	サンフランシスコ地震	アメリカ・カリフォルニア州のサンフランシスコを襲ったマグニチュード8.3の地震。立ち並んでいた高層建築が次々に倒壊、市街地の火災は3日間燃え続けた。
1908(明治41)年	メッシーナ地震	イタリア南部に浮かぶシチリア島を震源に発生したマグニチュード7.2の地震。津波も発生し、死者は82,000人とも10万人ともいわれる。
1910(明治43)年	明治43年の大水害	東日本各地を集中豪雨が襲い、迫川、北上川、阿武隈川が氾濫。死者・行方不明360人に上った。
1923(大正12)年	大正関東地震(関東大震災)	相模湾北西部を震源とするマグニチュード7.9の地震が発生。火災も激しく関東一帯で死者、行方不明者が10万人を超えた。
1933(昭和8)年	昭和三陸地震津波	マグニチュード8.1の地震に続き、雷のような大きな音とともに津波が押し寄せ、三陸沿岸を飲み込む。死者・行方不明者3,064人、負傷者1万人以上。
1939(昭和14)年	エルジンジャン地震	トルコ東部のエルジンジャン県でマグニチュード7.8の地震が発生、3万人以上が死亡。地震の多いトルコでも最大級の被害になった。
1959(昭和34)年	伊勢湾台風	紀伊半島から東海地方を中心とし、ほぼ全国にわたって大きな被害を及ぼした台風。伊勢湾で高潮が発生し、死者・行方不明者5,000人を超えた。
1960(昭和35)年	チリ地震津波	南米チリで史上最大となるマグニチュード9.5の巨大地震が発生。太平洋を超えて日本にも津波が到達し、全国で死者・行方不明者142人、県内でも53人が犠牲。
1970(昭和45)年	ポーラ・サイクロン	バングラデシュを襲い、30~50万人が亡くなったとされる史上最大級のサイクロン被害。災害対応をめぐって東パキスタンで内戦が起こり、翌年にバングラデシュが独立するきっかけになった。
1976(昭和51)年	唐山地震	中国北東部の河北省でマグニチュード7.8の地震が発生。工業都市として発達していた唐山市が壊滅状態に。死者は24万人を超え、中国で過去最悪の地震災害となった。
1985(昭和60)年	ネパド・デル・ルイス火山噴火	南米コロンビアにある活火山の噴火で大量の泥流が発生。麓のアルメロ市を直撃し、犠牲者は23,000人に上った。
1995(平成7)年	兵庫県南部地震(阪神・淡路大震災)	淡路島北部を震源とするマグニチュード7.3の地震が発生。死者6,434人、行方不明者3人、負傷者4万人を超える甚大な被害になった。
1999(平成11)年	台湾大地震	台湾のほぼ中央を震源としたマグニチュード7.6の地震。死者2,415人、行方不明者29人、負傷者11,305人。
2004(平成16)年	スマトラ島沖地震・インド洋大津波	マグニチュード9.1の地震とともに大津波が発生。インド洋沿岸に被害をもたらし、27万人以上が死亡する大災害となった。
2005(平成17)年	ハリケーン・カトリーナ	アメリカ・フロリダ半島などに上陸した巨大ハリケーン。ニューオーリンズ市の8割が水没。1,800人以上が死亡し、経済被害は11兆円あまりに達した。
2008(平成20)年	サイクロン・ナルギス	インド洋で発生したサイクロンが発達しながらミャンマー南部を直撃。死者・行方不明者は約14万人。
2008(平成20)年	四川大地震	中国・四川省で発生したマグニチュード8.0の地震。レンガ造りの家屋や学校などが多数倒壊し、約87,000人が犠牲。
2010(平成22)年	ハイチ地震	カリブ海のハイチ共和国で起こったマグニチュード7.0の地震。不安定な社会情勢でインフラの整備が進まず被害が広がり、死者30万人を超える史上最悪の地震災害となった。
2011(平成23)年	東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)	三陸沖で発生したマグニチュード9.0の地震は、巨大津波を発生させ、全国で死者19,335人、行方不明者2,600人(2015年9月消防庁)の被害を出した。また、原子力発電所の事故も起こった。
2013(平成25)年	台風30号・ハイエン	台風30号、アジア名「ハイエン」が猛烈な勢力でフィリピン中部のレイテ島などを直撃。津波のような高潮によって被害が拡大、死者は6,000人以上。
2015(平成27)年	ネパール地震	ネパールの首都カトマンズ北西を震源にマグニチュード7.2の地震が発生。周辺国を合わせ約8,500人が死亡。

(「日本の自然災害1995~2009年：世界の大自然災害も収録」(萩原幸男監修、日本専門図書出版、宮城県災害年表などより作成))